

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)	◎	住関連専門店（従業員）	・高単価の秋冬商材と比較すると手頃な春夏商材にこれから移行するため、物価高が続く中でもニーズがある商材に店内が切り替わる。今後は来客数増加が期待できる。
	○	商店街（代表者）	・3月は年度末のノベルティや経費の消化、4月は年度初めの経費が多く出たため、景気は上昇する。ゴールデンウィークを過ぎると一気に尻すぼみになっていく。
	○	商店街（代表者）	・3月は異動時期であるため人の流れも多くなり、消費動向に期待している。
	○	商店街（代表者）	・春先に向けて人の動きが活発化する。出歩く機会が増えるため心が明るくなり、販売量も増加すると予想している。
	○	一般小売店〔生花〕（経営者）	・これから3～4月は卒業式や退職、異動等で花束が売れる時期となり、予約も入っているため売上に期待している。様々な資材や材料費の高騰のため、利益率は下がるが、できる限り努力していく。
	○	百貨店（企画担当）	・新しい経済対策の実施時期等が明確になれば、売上増加に転じると考えている。
	○	百貨店（企画担当）	・ゴールデンウィークなどの大型連休で集客と需要が見込める。
	○	百貨店（営業企画担当）	・今後は政治刷新に伴う経済対策に期待している。
	○	スーパー（企画担当）	・来客数は引き続き前年を下回っているが、プレミアム付商品券の発行等や消費喚起の施策が控えているため、この先の景気はやや良くなると予想している。
	○	コンビニ（エリア担当）	・物価対策に期待している。
	○	コンビニ（店長）	・新しい経済政策で、景気は若干上向くと予想している。
	○	家電量販店（従業員）	・新学期に向けて新生活の需要が増えるかと予想している。
	○	乗用車販売店（役員）	・税制改正が影響し、登録や納車等での3月の販売は減少する見込みである。その反動で4月以降の販売は増加すると推測している。
	○	乗用車販売店（役員）	・年度末を経て税制改正や電気自動車、PH電気自動車等への補助金政策が落ち着くことに期待している。また、メーカーの生産状況改善にも期待している。
	○	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・来店客の状況として、純新規の客が増加傾向にある。ここ1～2か月は、半導体関連企業による外的要因も大いに寄与している。今後の売上は3～4月の異動シーズンに入る効果もあり、更に売上が伸びていくと推測される。
	○	一般レストラン（スタッフ）	・現状の景気が悪いため、3月後半からの人の動きに期待している。
	○	観光型ホテル（総務）	・3月は歓送迎会等で予約が多くなり、景気の好転が期待できる。
	○	観光型ホテル（専務）	・予約が徐々に増加している。
	○	観光型ホテル（支配人）	・3か月先の予約も微増であるため、やや良くなると予想される。
	○	旅行代理店（職員）	・春とゴールデンウィークの国内外の需要は、今月より増加するため、景気は良くなる。
	○	タクシー運転手	・春に向けてのイベントで、いつもより利用客が増加すると予想される。
	○	タクシー（統括者）	・乗務員の採用にて二種免許を取得した社員が多いため、その乗務員が数か月後には稼働に寄与することになり、景気はやや良くなると予想している。
	○	通信会社（社員）	・前年より扱う商材が増え、従業員のモチベーションが高くなり、先行きが明るくなっている。
○	通信会社（営業担当）	・新年を迎え、消費活動が活発化しているため、今後の景気は上向きになる。	
○	観光名所（職員）	・これから様々なイベントが始まるため、人の動きが活発になる見込みである。	
○	美容室（経営者）	・2～3か月先は暖くなるため衣類の色や形に変化が出る。客の動向も徐々に活発になり、外出が多くなることで景気が良くなる。今後は新製品もできるため、業界では忙しさが増す。	

<input type="radio"/>	美容室（経営者）	・3か月後の5月にはゴールデンウィークがあり、自分の外見をきれいにしたいと考える人が増加するため景気は良くなる。国から補助金が出たが全ての人に行き渡っていないため、経営は非常に厳しい状況である。
<input type="radio"/>	美容室（店長）	・結婚式や卒業式のため着付けをする予約が数人おり、今後景気はやや良くなる。
<input type="radio"/>	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・新年度になり委託費の改定やそれに伴う賃金改定等の効果が期待できる。
<input type="radio"/>	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・介護事業者に対する社員の賃上げの財源として補助金の給付が決定し、更に本年6月に介護報酬の臨時改定が行われるため、人材確保では大きなプラス要素になると予想される。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・地方では物価高の影響が大きいと、買物客の話題は物価高に関する会話が多く、買物の様子に今後の景気に暗さがみられる。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・給付金やプレミアム付商品券等の物価対策は検討しているが、景気回復にはまだ実感が湧かない。商店街においても空き店舗が少しずつ目立っている。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・商店街は変わらず厳しい商況が続く。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・今の状況から景気が良くなる要因が全く考えられず、今後も変わらないと予想している。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・現状が今後もしばらく続くが、再開発に期待したい。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・株価は急激に上がっているが、生活が良くなるとは想定できない。物価上昇に歯止めがかからず、売上が上がらないため、給与を上げようにも賃上げできない。若者たちの趣向も変化し、スマートフォン等の支出が多く、ゆとりのある生活にはならず、少規模小売業者は厳しくなる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（経理担当）	・食品や飲食関連、時計等の高額品も外商顧客を中心に伸びているが、物価高の影響もあり衣料品の売上は今後も見込めない。インバウンド需要もやや減少傾向にある。
<input type="checkbox"/>	百貨店（業務担当）	・食料品の消費税減税の報道が続いているが、まだ議論の段階で期待はできない。物価高騰により生活に困っている客が多く明るい話題は少ない。子育て世代でもなく、車を持たないためガソリン政策など自分の生活に関係のない補助ばかりだと考えている客もいる。現実的には、身の回りの生活用品の値上げが多く、買物も十分にできない客が多くなっている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（リーダー）	・価格高騰による買い控えの傾向にあり、客は必要な買物以外の購入を控えている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・春の新生活が始まるが、物価高騰と生活防衛意識の高止まりは変わらないと判断し、景気自体に変化はない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・賃上げや消費税の減税への期待感はあるが、仮に実施されたとしても、消費意欲向上への影響は限定的にとどまると考えている。そのため、景況感は良くないまま横ばいが続く予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・消費税が減税されたとしても、それを上回る物価の上昇が続く。特にコーヒーやチョコレート、のり類の値上げが顕著である。中小企業の勤務者や年金生活者は手取りが増えておらず、まだ好景気とはいえない状況である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・単価の上昇による買上点数の減少は続く予想されるが、消費税の減税が施行されると購入傾向に変化が現れる可能性がある。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・常連の客が株で利益を出した話等から、今後も比較的好況な状態が続くことが予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・現状のトレンドでは大きな環境変化がない限り、景気は変わらないと予想している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店	・景気が良くなるとみられる具体的な要素を感じないため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・特に変化もなく、この先も今の状態が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（取締役）	・引き続き衆議院選挙の結果によりムードは良くなると思うが、実質的な可処分所得の増加になっていないため、今後の景気は分からない状況である。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・上向く材料がないためこの先の景気は変わらない。

□	家電量販店（店長）	・ミラノ・コルティナオリンピック需要はほとんどなく、今後も良くなる要素がないため景気は変わらない。
□	乗用車販売店（従業員）	・例年どおりであれば、今月は決算期のため販売台数は伸びていたが苦戦しており、景気は変わらない。
□	乗用車販売店（代表）	・変わるような要因が見当たらない。
□	住関連専門店（経営者）	・株価は最高値を更新しているが、米国関税に左右されている。日中関係の緊張が経済にも影響をもたらし、物価の上昇は続いていくと予想している。しばらく客の財布のひもは固い状況である。
□	高級レストラン（経営者）	・2～3か月先は歓送迎会となるため徐々に予約が入っている。しかし、例年と比較すると変わらない状況である。
□	観光型ホテル（営業）	・4～5月の受注や問合せ状況をみると、目立った好材料がなく今一つ状況は良くないため、今後の景気は変わらない。
□	旅行代理店（統括者）	・先行きの販売動向は大きな変動がなく、商品価格帯のトレンドも変わっていない。
□	通信会社（企画担当）	・2～3か月後は年度が明けて見込みの案件が動き出す時期である。しかし、現状の予算の決定では先行きが見通せず、計画済み案件の対応が中心となっており、景況感は横ばいで推移している。
□	通信会社（企画担当）	・今後の景気は低調な状況が続くと予想している。
□	テーマパーク職員	・国内の来館者の微減傾向が継続しており、中国からのインバウンドは元々多くないため影響は軽微である。
□	ゴルフ場（従業員）	・韓国からのインバウンドは暖かくなるにつれ、徐々に減少すると予想されるが、地元客は徐々に増加するため今後の景気は余り変わらない。
□	競馬場（職員）	・現時点で、物価上昇等の外的要因による影響範囲等では景気動向の変化を見通すことはできず、景気は変わらない。
□	理容室（経営者）	・2月は実働日数が少なく3月にならなければ12月と同等の来客状況が再訪しないため、経営は非常に厳しい。2～3か月先には業種的に卒業や就職、転勤が始まる。3月まで客の動きは良いがそれ以降は非常に厳しい状況となり、今後はマイナスに傾く可能性もある。
□	設計事務所（所長）	・世界情勢の先行きがいまだ不透明で、物価の上昇がどこまで続くか懸念される。現状では仕事の対価が上昇する兆しはなく、自分たちの生活を維持できるのか不安がある。
□	設計事務所（所長）	・仕事がまとまるのに3か月掛かる。今月の打合せの結果は3か月先に出る。そのため、今月と同じ状況となり景気は変わらない。
□	住宅販売会社（従業員）	・受注に関しては横ばいの状況が続いている。イベントの来場者数も大幅な減少はなく、今後も現状と変わらずに推移していくと推察している。
▲	一般小売店〔精肉〕（店員）	・売上は上昇しているが、それ以上に原価や販管費が上昇しているため、景気はやや悪くなる。更なる値上げや余分な固定費のコストカットを進めていかなければならない。
▲	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・生活必需品や食料品の値上げが続き、消費者は節約モードに入っている。今後、食料品の減税が早く実行されれば多少売上も期待できる。
▲	百貨店（企画担当）	・来客数の減少に伴う売上の減少が今後も続くと予想している。
▲	百貨店（経営企画担当）	・2025年1月～2026年2月まで来客数の前年割れが続いている。直近23か月で好転する内的外的な要因がなく、今のトレンドが続き、景気悪化を想定している。
▲	コンビニ（経営者）	・商圏内の店舗の使われ方が大きく変化している。コンビニ商品であるファーストフードやドリンク類を除いた多くのカテゴリーに影響があると判断している。
▲	コンビニ（経営者）	・店舗前面の工事が続き、来客数の減少もあるため、今後も厳しい状況が続いていく。
▲	コンビニ（エリア担当・店長）	・冬の終わりから春にかけて商品の単価の上昇が続くため、客の買い控えは継続すると予想される。来客数も伸び悩み、外出控えのため総菜や弁当などのプラス1品の売行きが減少している。
▲	家電量販店（店員）	・インフレ状況の緩和政策の効果がなければ物価上昇は避けられず、今後の景気が良くなる好材料はない。

	▲	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・トレンド商品のシールのおかげで、館内にて全体的な好影響が生まれている。シールを求めて来館するファミリー層が購入後も館内に滞在し、館内の他店舗を利用するという好循環になっている。そのため、シールのトレンドが収束する状況になれば館内全体の集客に影響が出るとみている。
	▲	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・今月までの傾向から反転する材料がない。春の賃上げや物価対策の実行があるまでは現状のままと予想される。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・季節も関係しているが、ホテルは上期に販売量が減少する傾向にあるため、景気は悪くなる。
	▲	タクシー運転手	・旅行客の減少と物価高によって夜間の人流が減るため、売上の落ち込みは抑えられず景気は悪くなると予想している。
	▲	設計事務所（代表）	・金利上昇の影響により、今後の景気はやや悪くなる。
	×	コンビニ（経営者）	・コンビニの価格が高いため客は減少しており、景気は悪くなる見通しである。
	×	スナック（経営者）	・物価の上昇が激しい。都市圏の家賃も上がり、家計を圧迫する話ばかりである。店で提供する原価も軒並み上がっているが、賃金は上がっていないため安易な値上げもできない。外食費は節約され、飲食店の景気は良くならない。食品消費税が軽減されると状況は更に深刻になる。
	×	旅行代理店（統括者）	・米国とイランの関係によって旅行業界に大きな影響が出る。今後、争いが起これば景気は確実に悪化する。
	×	住宅販売会社（従業員）	・政権が代わり、日中関係や消費税に関する経済対策について先行きが不透明であるため、景気は良くはならない。
企業 動向 関連 (九州)	◎	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・年度末の納品が多いため、良くなると予想している。
	○	農林水産業（経営者）	・原料となる鶏の入荷次第であるが、3～5月は異動シーズンや大型連休を控えているため、消費は伸びてくるとみられる。懸念されている鳥インフルエンザも現時点ではさほど発生はしておらず、最小限度の影響にとどまっているため期待できる。
	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	・特注ではあるが、まとまった受注が入ったため状況は良くなると見込んでいる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・まだこの先も需要は伸びていくとみられる。
	○	電気機械器具製造業（取締役）	・全ての企業ではないものの、ビジネスを実施している企業に好況の波が来ているため、今後景気は良くなる。
	○	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・来期の計画数も今期以上の数量で計画しており、新車の立ち上げもあることから生産量の増加も見込める。
	○	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・来月から生産に動きが出てくるとの情報があり、生産も増加しつつある。我が国でレアアースの話が取り上げられると、徐々に中国からの出荷がみられることも予想される。
	○	金融業（営業）	・今後の政策次第ではあるが、即効性はないと考えている。2～3か月で結果を求めるのは厳しいが、新政権に期待したい。
	□	家具製造業（従業員）	・大規模案件は計画どおりに進んでいるが、中小規模案件は見込みが少ない状況であるため、景気は変わらない。
	□	化学工業（総務担当）	・上期好調の反動もあり、下期の損益は上期比でやや落ち着くと想定される。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・今年度は現状のままだが、新年度になったときに複数の外的要因からの動きによって問題は発生するため、新年度に入らないと見通しが立たない。3月はよい状態であるが、新年度からは不透明である。
	□	電気機械器具製造業（総務担当）	・顧客メーカーの売上予測によると、景気は変わらない。
	□	輸送業（従業員）	・物価上昇の流れがあるため大きくは変わらないが、今後、人の動きが大きければ更なる効果も期待できる。
□	輸送業（従業員）	・3月以降は春服や新生活関連で荷動きが増加する可能性がある。しかし、消費に関してはメリハリ消費が増加していることから、荷動きの増加ではなく2極化が進み、物量自体の変化はないと推測している。また、同業の会合でも倉庫に空きがあるという話が多い。荷主の在庫数量の減少が主な要因となっている。	

	<input type="checkbox"/>	輸送業（総務担当）	・一部の荷主の見込みでは物量が減少するとの情報がある。課題は山積しているが、この先の景気の急速な悪化にはつながらないと予想している。
	<input type="checkbox"/>	通信業（職員）	・来年度の受注目標と比較すると、営業の件数や情報が不足している。今後の営業活動及び情報収集で充当できるとみられるが、受注量が目標を超えて大きく好転する要素も現時点では見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	通信業（統括者）	・新規案件等への積極的な設備投資については、意欲的な状況とは言い難い。
	<input type="checkbox"/>	通信業（経理担当）	・新政権の経済関連対策によって、当社が属する業界にはプラスの影響が出ると予想され、現状の景況感が維持されると考えている。
	<input type="checkbox"/>	金融業（経営者）	・現時点では、会員数や受託調査が悪くなる、あるいは良くなる要素もないため、景気は変わらない。しかし、人手不足感があり、引き合いがあってもこなしていけるかが不安材料である。
	<input type="checkbox"/>	金融業（調査担当）	・中小企業では、1度ベース賃金を上げるとその後も継続的な負担になるため、物価高に合わせた賃上げが進みにくい状況である。当面は現在の景気水準が続くとみられる。
	<input type="checkbox"/>	金融業（調査担当）	・当面は物価高や人手不足の状況が続き、景気は現状程度で推移すると予想される。
	<input type="checkbox"/>	金融業（営業担当）	・新政権の成長戦略次第である。設備投資への意欲は中小企業も高い。しかし、物価が想定より高いため投資効果が予測できず、足踏みしている状態である。
	<input type="checkbox"/>	経営コンサルタント（代表取締役）	・自社Webのアクセス数や問合せ件数に変化がないため、景気は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	経営コンサルタント（社員）	・3月までは内部の仕事に追われ、対外活動に余り期待ができないため、景気は変わらない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	不動産業（経営者）	・現在の仕事内容や受注等を分析しても、この先は不景気になると予測される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	新聞社〔広告〕（担当者）	・大規模な紛争の増加による世界経済の悪化が懸念される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	広告代理店（従業員）	・新政権の効果が出てくるまでに時間が掛かると考えられ、世界情勢でも紛争終結への道のりは遠く、好材料に乏しい。そのため、3か月後の景気はやや悪くなると予想している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・例年と比較して市町村からの発注が減少し、更に予算額が低くなることを予想される。そのため、受注の機会が減少し、受注しても受注金額が低くなる。入札においては、価格競争となることから、更に受注金額が低くなり、景気はやや悪くなることが予想される。
	<input type="checkbox"/>	繊維工業（営業担当）	・3月過ぎの閉鎖倒産が多いとみられるため、景気は悪くなる。
雇用 関連 (九州)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・求職者数は先付けの案件を探している傾向が強い。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・求職者数の大幅な増加が見込めないため、今後の景気は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（社員）	・新年度であるため、意識に若干の期待感を持っている。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・慢性的な人手不足が続き、賃上げで時給が上がったことで、社会保険に入らず就業時間の短縮を希望する労働者がいる。その一方で、物価高で経済的に厳しく少しでも収入を得たいと求職申込みを行う者も多くなっており、今後の景気も変わらず厳しいと予想している。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・特定の半導体関連事業所の派遣求人数が大量に提出されているが、業界全体で増加している状況ではないため、引き続き注視する必要がある。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職支援業務）	・米国政権の自国優先主義や米中貿易摩擦に加え、日中関係に伴う中国政府の我が国への輸出規制など、国際情勢や国際経済の不確実性が高まり、景気が上向く気配はない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・新年度の契約更新の確認をしているが、3月で更新しない人が前年よりも1割多く、更に後任も必要ない状況であるため、今後の景気はやや悪くなる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・4月には新卒採用時期を迎えることから、企業においては新卒人材の受入れを優先する動きが見込まれ、派遣社員の新規受注や契約更新について一部で抑制される可能性がある。

▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）		・賃上げや社会保険加入など雇用維持をうたい、業務改善助成金やキャリアアップ助成金の対象となっている。助成金による一時的な支援だけでは長続きしないと予想している。
▲	学校〔専門学校〕（就職担当）		・食料品やエネルギー、日用品等の価格上昇が継続し、実質的な可処分所得が伸びにくい状況が今後も続くと思込まれる。
×		—	—